

ともに

男女共同参画社会の
実現をめざす情報誌

2023.4
73号



特集

性別によって“役割”って決まっているのかな？ P2~P5

～小学校高学年児童に聞きました～

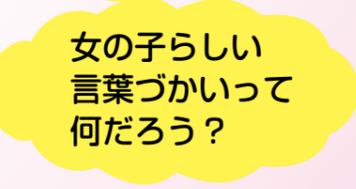
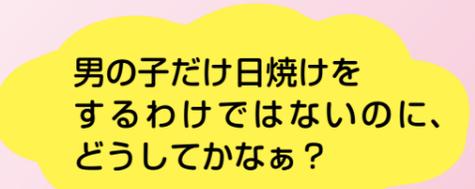
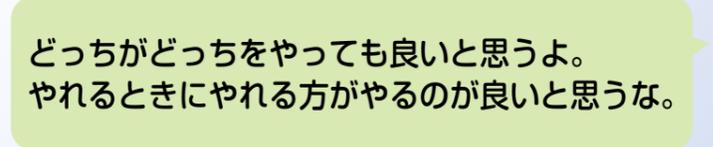
- 相模原市と横浜市との間でのパートナーシップ
宣誓制度の転出・転入手続きを簡略化しています P6
- 生理用品を無料で配布しています！
- 男女共同参画フォトコンテスト2022入賞作品決定！！ P7
- ソレイユさがみ通信 P8

「野球を習ってみたい!」「ゲームで遊びたい!」「料理をうまく作れるようになりたい!」
これって性別関係あるかな?それぞれがいろいろな思いを持ち、性別に関係なく、好きなものややりたいことをやりたいよね。
しかし、「男性は外で働くもの」「女性は家で家事をするもの」と考えることは誰にでもあります。
そこで、市内の小学校高学年の児童とその保護者に男らしさや女らしさについて、どのように考えているのかインタビューしてみました!



小学校高学年児童に聞きました! 性別によって“役割”って 決まっているのかな?



<p>Q1 「男の子らしく/女の子らしく」 って言われたことある?</p>	<p>Q2 どんな言葉を言われたのかな?</p>	<p>Q3 お父さんは外で働いて、お母さんは 家で家事をするについてどう思う?</p>
<p> ぼくは、ないなあ。</p> <p> 私は、あるよ。</p> <p> ぼくもある!!</p> <p> ないと思うけどなあ。</p>	<p> 「女の子らしい言葉づかいをしなさい!」 って言われたことがあるよ。</p> <p>女の子らしい 言葉づかいって 何だろう?</p> <p>男の子だけ日焼けを するわけではないのに、 どうしてかなあ?</p> <p> 日焼けをして黒くなった自分に、 「黒くて男らしくなったね」と 言われたことがあるよ。</p>	<p> お母さんが外で働いて、お父さんが 家の事をするのも良いと思う。</p> <p>どっちがどっちをやっても良いと思うよ。 やれるときにやれる方が良いと思うな。</p> <p> 家族のためにがんばってくれているから、 どちらが家事をやっても仕事をやっても 良いと思う。 いつも家族のためにありがとう!</p>

お父さん、お母さんはこう考えています!

<p>Q 「男は仕事、女は家庭」について どう思いますか。</p>	<p>Q 家庭や仕事の中で、 性別の違いを感じる ことはありますか。</p>	<p>Q 男女平等を進めるためには、子どもたちに どのような意識を持ってもらいたいですか。</p>
<p>今は、女性も働く時代だから、共働き家庭はなおさら協力し合い、その時にできる方が家事や育児をやったら良いと思います。</p> <p>家事  育児 </p>	<p>性別に関係なく、個人の能力によって役割を決めたら良いと思います。昔とは違う考え方をしていかなければ、今の生活も日本も変わることができないのではないかと思います。</p> <p></p>	<p>力仕事や危険を伴うことは、男性がすることが多いと思いますが、家事、育児については、女性の方が要領が良い印象はあります。</p> <p></p>

息子には、積極的に料理や掃除などを頼んでいます。子どもたちが家庭を持つ時には、家事や育児は夫婦で協力してやるものと、認識させたいです。



男女関係なく、相手を思いやる気持ちを大切に、自分には何が出来るか、何をしたら良いかを意識してほしいですね。将来、自分と違う意見があってもそれを受け止め話し合いながら進めていくことができる大人になって欲しいです。

相模原市にはこんな決まりがあります。

『さがみはら男女共同参画推進条例』とは？

「男女共同参画」って何だろう？

それは、「男女平等にチャンスが与えられ、自分の個性や能力を活かして仕事や進路を選べたり、会社や大事な会議などで男女一緒に物事を決めたりできるようにして、男女がともに活躍でき、責任を分かちあい、お互いに尊重しあっているようにしていくこと」を言います。

この、「男女共同参画」という考え方を、みんなで進めていくために必要な仕組みや方法が書いてある相模原市の決まりが、『男女共同参画推進条例』です。

この条例で、とくに皆さんに知ってもらいたい内容を紹介します。

いろいろなことを 男女一緒に決めていこう

男性が社長や会長、委員長のよう責任ある立場についてものごとを決める場合が多いけれど、女性も一緒にいろいろ決められるようにしていきましょう。



男性の役割、女性の役割ってそれぞれ 決まっているわけではないんだ

「これは男に、あれは女に向いてる仕事だ／勉強だ」などと、男性と女性でそれぞれ役割が決まっているわけではないから、自分が将来本当にやってみたい仕事や勉強などがあるなら、男女の区別なく自由に選んでよいのです。

いろいろなところで、男女の区別なく、 個性や能力を大切に教育をしよう

「男だから」「女だから」ということではなく、みんなが社会で活躍できるようにするために、家や学校などいろいろなところで、その人の個性や能力を大切に教育をしていこう。



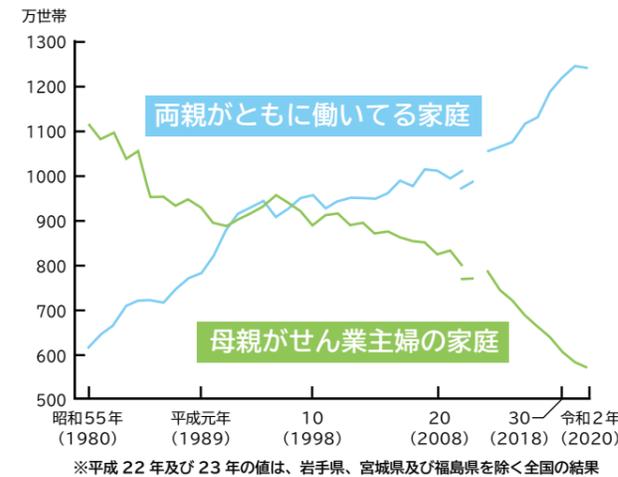
家庭と仕事、どちらも大切だから、 両立できるように協力して助け合おう

お父さんもお母さんも、家事や育児など家庭のこと、地域のこと、会社の仕事など協力して助け合おう。そのためには、会社が工夫してくれたり、地域の人が協力してくれたりすることが必要です。

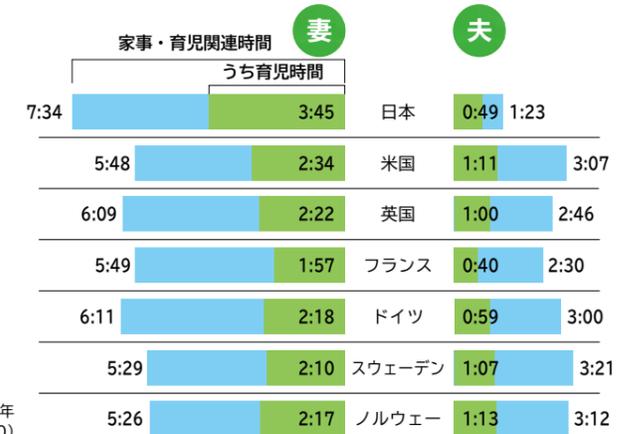
家事・育児に関する協力は進んでいるの？

▶▶▶▶データから分かる男女平等▶▶▶▶

(図1) 両親がともに働いてる家庭の数と
母親がせん業主婦の家庭の数の移り変わり



(図2) 6才未満の子どもを持つ夫婦の
家事・育児関連時間



日本では、母親が働く割合が増えてきています。平成9年以降は、両親がともに働いている家庭が母親がせん業主婦の家庭数を上回っており、特に平成24年頃からはその差は急速に拡大しています。(図1)

一方で、妻の家事・育児関連時間は夫より長く、他の国に比べても長くなっています。(図2)

出典 文部科学省「学校と地域ではくむ男女共同参画の促進」(保護者向け啓発資料)からの抜粋

保護者の皆様へ お子さんと一緒に、男女共同参画について 話し合ってみましょう

男女共同参画を進めるには、ご家庭などでの日常生活における意識や行動がとても大切です。学校でどのようなことを学んだか、友達とどのような話をしているかなど、お子さんに聞いてみましょう。

ご家庭での役割がどのようになっているか、お子さんと話してみましょう。
(ごはんを作る、お皿を洗う、掃除、洗たく、ごみを出すなど)



お子さんが好きなことや、これからやりたいこと、将来の職業などについて、聞いてみましょう。

市では、男女共同参画の実現のため、市民や事業者等の皆様と連携・協力して、様々な施策に取り組んでいます。



男女共同参画フォトコンテスト 2022 入賞作品決定!!

～輝く個性 その瞬間 その一枚～

誰もが
いきいきと
暮らせる社会を
目指して開催!

ソレイユさがみでは、「男女共同参画フォトコンテスト 2022 ～輝く個性 その瞬間 その一枚～」として、家庭や職場、学校、地域など身近な暮らしの中で年齢、性別による役割分担、社会慣習にとらわれず、男女問わず個として輝く姿、光景を写した作品を募集しました。数多くの応募作品の中から決定した入賞作品をご紹介します。

また、入賞作品はソレイユフェスタ 2023 の期間内に、館内で展示しています。ぜひご覧ください!

準グランプリ賞



「ボクは赤が好き
ハートも好き」
応募者 木村 有香さん
一言コメント
優しいかわいい男子です。

グランプリ賞



「パパの番、今日のメニューは何ですか」
応募者 江成 千鶴さん
一言コメント
今日はパパの当番日、毎回子どもたちはワクワクしながらパパの作るご飯を楽しみにしています。パパの時は息子も一緒に手伝います。

準グランプリ賞



「練習に打ち込む!」
応募者 竹内 寿一さん
一言コメント
友人が67歳になって始めた沖縄の空手、70歳にして黒帯(初段)を取りました。すごいことですネ!

佳作



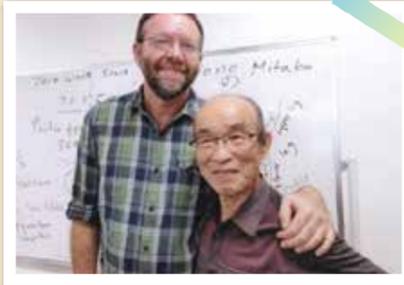
「きれいなハスの花を
咲かせるために」
応募者 小泉 正直さん
一言コメント
3月下旬の植え付け前にハス田の清掃を行っている風景です。ハスの収穫ではなく、不要な残りハスなどを撤去することのこと。

佳作



「家族でフラメンコ競演」
応募者 石井 トシ子さん
一言コメント
女の子ばかりの中で一人がんばって踊る孫息子の姿に、ばあばはうるうる。でも一番うるうるはパパ。

佳作



「93歳の向上心
93, Still Learning Up-wards」
応募者 吉本 和子さん
一言コメント
耳が遠いというハンディがあるのにも関わらず、英語を通して皆とのコミュニケーションを大切にしている方です。

相模原市と横浜市との間でのパートナーシップ宣誓制度の 転出・転入手続きを簡略化しています

パートナーシップ宣誓制度を利用している人が他市に引っ越す場合、相模原市への受領証などの返還手続きと、引っ越し先での新たな宣誓手続きが必要ですが、令和5年3月1日より横浜市への転出・横浜市からの転入の場合に、この手続きが簡略化できるようになりました。

また、原則として、当初の宣誓日を受領証などに記載することができるので、ぜひご活用ください。

※川崎市とは、令和2年12月1日より転出・転入の手続きを簡略化しています。

パートナーシップ宣誓制度とは
お互いを人生のパートナーとして、生活を共にしていくことを宣誓した性的マイノリティとそのパートナーの方に対して、市が「パートナーシップ宣誓書受領証」と「パートナーシップ宣誓書受領証カード」を交付する制度です。当事者の自分らしい生き方を後押しするとともに、性の多様性に関する社会的な理解を促進するため、令和2年4月1日から開始しています。



- 両市の宣誓要件に違いがあることから、横浜市から相模原市に転入する場合は、相模原市の宣誓要件を満たす方のみ都市間連携の対象となります。
- 住民票の異動に伴う転出・転入届の手続きは別途必要です。



問い合わせ先 相模原市人権・男女共同参画課 電話042-769-8205

生理用品を無料で 配布しています!

新型コロナウイルス感染症の影響などで、生理用品の購入に困っている人へ無料で配布しています。
※無くなり次第終了します。在庫の取り置きはできません。

受け取りを希望される人は直接配布窓口へお越しください。

ソレイユさがみ		中央子育て支援センター	
所在地	相模原市緑区橋本6-2-1 (イオン橋本店6階)	所在地	相模原市中央区富士見6-1-1 ウェルネスさがみはらA館1階
配布時間	午前9時～午後10時 (偶数月の第4日曜日、年末年始を除く。)	配布時間	月～金曜日(祝日等、年末年始を除く。) 午前8時30分～午後5時
緑子育て支援センター		南子育て支援センター	
所在地	相模原市緑区西橋本5-3-21 緑区合同庁舎3階	所在地	相模原市南区相模大野6-22-1 南保健福祉センター3階
配布時間	月～金曜日(祝日等、年末年始を除く。) 午前8時30分～午後5時	配布時間	月～金曜日(祝日等、年末年始を除く。) 午前8時30分～午後5時

対象者 市内在住、在勤、在学の女性で、生理用品の購入に困っている人
無料配布物 生理用ナプキン1セット(ふつうの日用30個入・夜用12個入)
※数量が変更になる場合があります。

受取方法 いずれかの方法で受け取ってください。

- 配布窓口における口頭での申し出
- 配布窓口を設置してある専用カード(意思表示カード)の提示
- スマートフォン等に表示させた生理用品の無料配布案内ページの提示
※身分証明書などの提示は不要です。



問い合わせ先 相模原市人権・男女共同参画課 電話042-769-8205

6月17日(土)～6月29日(木)は『さがみはら男女共同参画推進週間』です。

さがみはら男女共同参画推進週間事業 **ソレイユフェスタ 2023**

～自分らしく輝こう 未来に向けて～

【期間】6/17(土)～6/25(日) 【会場】ソレイユさがみ

1
パネル展
「なるほどジェンダー」

6/17(土)～6/30(金)
9:00～21:50

2
パネル展
男女共同参画フォトコンテスト2022
入賞作品展示

6/17(土)～6/25(日) 9:00～21:50

3
ソレイユマルシェ

女性の起業・男性の社会参画応援事業
手づくり作家による手作り品の販売と
体験ワークショップ

6/17(土)・6/25(日) 10:00～15:00

4
さがみはらいきいきフォーラム2023

6/17(土) 13:30～15:30

セミナールーム1

与良正男氏講演会

「日本の政治と社会の行方」

～女性と若者の参画が『カギ』～

講師：与良 正男さん(毎日新聞社 客員編集委員)

定員：60名

一般社団法人相模原市ひとり親家庭福祉協議会と共催

5
防災講座
地域防災におけるドローンの活用と普及について

6/18(日) 14:00～15:30

講師：一般社団法人地域防災ドローン・相模原

定員：20名

セミナールーム1

6
子育ておしゃべりサロン
おしゃべりの中から自分らしい
子育てを見つける場

6/19(月) 10:30～11:45

定員：1歳未満の子どもを初めて子育て中の人7組

7
大人の名作映画鑑賞会『哀愁』

6/21(水) 13:00～15:00

定員：70名

セミナールーム1

8
生涯を通じた健康づくりセミナー
「増える大腸癌 内視鏡の重要性について」

6/23(金) 10:00～11:30

講師：立之 英明さん(りつの内視鏡クリニック院長)

定員：20名

セミナールーム2

9
初めてでも簡単！メンズメイク教室

6/24(土) 10:00～11:30

講師：川端 由佳さん(有限会社マルコヤ) 定員：10名

協力：桜美林大学サービス・ラーニング・センター

相模原市総合就職支援センターと共催

セミナールーム2

10
パネルディスカッション
ダイバーシティ社会を考える

～多様化した社会で私の「らしさ」とあなたの「らしさ」が出会うとき～

6/25(日) 10:00～11:30

セミナールーム1

進行：林 加奈子さん(桜美林大学准教授)

定員：50名

協力：桜美林大学サービス・ラーニング・センター

11
パソコンが苦手な子どものプログラミング体験教室

6/25(日) 午前コース：10:00～11:30

午後コース：13:30～15:00

講師：ランチパッドテクノロジー&パートナー株式会社

定員：各8名(小学生)

セミナールーム3

※講座等の内容が変更になることがあります。

他にも、様々なセミナーを企画中です。

お申し込み方法など詳しくは下記へお問い合わせください。

ソレイユさがみ TEL 042-775-1775

問い合わせ時間 9:00～17:00

ソレイユさがみ(相模原市立男女共同参画推進センター)は、一人ひとりが自分らしくいきいきと生きることができる男女共同参画社会の実現を図るための活動拠点です。
〒252-0143 相模原市緑区橋本6-2-1(シティ・プラザはしもと内) JR横浜線・JR相模線・京王線橋本駅北口 徒歩1分 TEL.042-775-1775 FAX.042-775-1776

ソレイユさがみは、指定管理者「NPO法人男女共同参画さがみはら」が管理・運営しています。

E-mail jinkendanjo@city.sagamihara.kanagawa.jp 本号へのご意見・ご感想をお待ちしております。

発行 相模原市役所(人権・男女共同参画課) 〒252-5277 相模原市中央区中央2-11-15 TEL.042-769-8205(直通)

取材・協力 さがみはら男女共同参画推進員(石井あゆ美、井上幹夫、菅野茉祐、篠原直彦、新藤杏美、高宮剛、鍋谷帆花、長谷川涼子、備前響 50音順/敬称略)